



SCS（関中コミュニティスクール）のスローガン 「しあわせ関中計画」



こんにちは！関中学校コミュニティスクール通信「ヨーイスセキュア」です。
立春を過ぎ、関にも春の気配が香ってくる季節になってきました。

今号は、落合会長からの卒業メッセージと、昨年12月に募集したSCSのロゴが決定しましたので、ロゴ関連についてレポートしたいと思います！

■ 3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます！

SCS会長 落合さんからのメッセージ



SCS 落合会長

卒業式を終えられた3年生の皆さんは、関中からの旅立ちを前に、喜びと希望だけでなく、友達との別れの淋しさや新たな環境への不安が入り混じった気持ちでいることでしょう。小・中学校の友達や、4月からの新しい出会いで出来る未来の友達は、君たちの人生にとって大切な宝物になります。勇気を出して、自分から話しかける事がまず第一歩。価値観が共有できて、かけがえのない友情を育てる素晴らしい出会いが、きっと訪れるはずですよ。



■ 第4回CS会議にて、SCSロゴが決定しました！



12月に募集していたSCS（関中学校コミュニティスクール）のロゴを、第4回会議にてCSメンバーで選定しました！

デザイン案を出してくれた在校生の皆さん、素敵なアイデアをたくさんありがとうございました！

決定したロゴは、今後、SCSの活動の目印として使わせていただきますので、どうぞお見知りおきを！

作成者に伺いました、このロゴのコンセプトは？

植木鉢の植物は成長する子どもたち、帽子の笑顔の人はおじさんおばさんが陰ながら見守っていると、虹は夢に向かって進んでいくというイメージです！



学活の時間にSCS会長から表彰させていただきました！絵を描くのが好きな女の子です

ドゥジャコテム

SCSの考える子育てのヒント、冊子「やる気スイッチのありか」から抜粋してお届けします。

第1回「ことばのちから」

言葉には、一瞬で人の心を動かす、大きな力があります。

2019年から読売巨人軍の監督に就任した原辰徳監督は、「監督の一番の武器は『言葉』。監督として一番大切な仕事は、その武器である言葉をつかって、いかに選手のモチベーションを上げるかです。」と、テレビで話されていました。

箱根駅伝で有名な青山学院大学の原晋監督は、「やる気を引き出すには言葉が重要」とおっしゃっていますし、高校野球の強豪校である大阪桐蔭高校の西谷監督は、「子ども達の自主性、やる気を促しながら、それを大人が誘導する事が大切である」と考え指導しているそうです。

子どもの持つ無限の可能性を大きく引き出す条件、それは『子どものやる気スイッチを押す事』です。
「やらなければならない事」を、「やりたいからやる事」に導くために、周りの大人が工夫して言葉をかけてみませんか。



では、どんな言葉がけやくふうで子どもを導き育てれば良いのでしょうか？ (次号に続く)

■ SCSと在校生をつなぐ「妖怪ポスト」を作りました！



SCSメンバーの北澤さんに素敵なポストを作っていただきました！通称「妖怪ポスト」。このポスト、神出鬼没で、夜中のうちに移動したり、授業中に本を読んでいたります…。

SCSロゴの募集の際や、保護者の方からの卒業生メッセージの募集にも活躍しました。今後も、関中学校コミュニティスクールと在校生をつなぐ架け橋となるべく活躍していく予定です。

関中学校にお越しの際は、ぜひ妖怪ポスト、探してみてくださいね！

■ SCS活動レポート

第4回学校運営協議会（CS会議）を開催しました。

第4回学校運営協議会が、1月23日（木）に開催されました。今回の会議では、今年度の活動のまとめや、ロゴの選定の他、来年度のメンバーについての話し合いをしました。来年度以降のSCSの活動についても活発に意見が交わされました。

妖怪ポストや冊子「やる気スイッチのありか」は、来年度以降も活躍しそうです。次回の第5回CS会議は3月19日（木）に開催予定です。



関中ホームページにて普段の関中学校の様子がご覧いただけます



<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/sekichu/>

SCS 関中学校コミュニティスクール



関中学校 HP